

キーワード：博物館 文化遺産 文化財 資料保存 保存科学 文化財科学

このリストに掲載されている資料は、**人文科学図書館 KULiPコーナー**に配架してあります。  
 ※一部学内他館のみで所蔵しているものがあります。  
 [ ]内の英数字をOPACに入力すると、該当資料のみを検索できます。

## 博物館学の全般

- [キュレーションの現在：アートが「世界」を問い直す / フィルムアート社編 フィルムアート社, 2015.](#) 
- 現在「キュレーション」は、アート、美術館に限らず、さまざまな領域で使われています。多様化した方法や役割を、最前線で活動する人たちが語ります。
- [ BB18115433 ]
- [キュレーション：「現代アート」をつくったキュレーターたち / ハンス・ウルリッヒ・オプリスト 著；村上華子訳 フィルムアート社, 2013.](#) 
- 現代アートの分野を大きく切り開いてきたキュレーターたちを追うことで、現代芸術の世界を見つめます。
- ※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BB13384198 ]
- [博物館危機の時代 / 辻秀人編 雄山閣, 2012.](#) 
- 本書は指定管理者制度など、近年の博物館が直面する課題を正面から取り上げています。
- [ BB10510762 ]
- [歴史のなかのミュージアム：驚異の部屋から大学博物館まで / 安高啓明著 昭和堂, 2014.](#) 
- 博物館の意義を歴史的に考察し、また海外と日本の博物館を比較検討し、今後の博物館のあり方を再検討しています。
- [ BB15354686 ]
- [日本の博物館史 / 金山喜昭著 慶友社, 2001.](#) 
- 日本の博物館の歩みを、近代以前の思想に始まり、明治時代から戦後までを通覧する。近年の動向についても、地域博物館を軸として地域振興、住民参加といった観点から考察を加えています。
- [ BA53560404 ]
- [思想としてのミュージアム：ものと空間のメディア論 / 村田麻里子著 人文書院, 2014.](#) 
- 本書はメディア論の見地からミュージアムを読み解き、“ミュージアムブーム”と“ミュージアム冬の時代”が同時にきている日本の思想的背景といったものを示しています。
- ※総合・国際文化学図書館、人間科学図書館で所蔵 [ BB17789770 ]

- [二十一世紀博物館：博物資源立国へ地平を拓く / 西野嘉章著, 2000.](#)  
ミュージアムを戦略拠点と捉え、「ヴァーチャル・ミュージアム」に代表される記憶の集積、博物資源化などを論じ、日本の博物館のあり方を検討しています。  
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BA49388455 ]
- [博物館学人物史 / 青木豊, 矢島國雄編 雄山閣, 2010.](#)  
明治から昭和にかけて博物館界で活躍した先人たちの生涯・博物館との関わり・研究の軌跡から、博物館学の学史と思想を見つめます。  
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BB03048434 ]
- [博物館の歴史 = The history of museum / 高橋雄造著, 2008.](#)  
ルーヴル、スミソニアン、ドイツ博物館など、主要博物館の沿革と方法論の形成過程を論じ、近代的な公共博物館が西欧に根付いてきた過程を明らかにします。さらに教育、技術史の扱いから、現代の公共博物館を展望しています。  
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BA85868851 ]
- [博物館という装置：帝国・植民地・アイデンティティ / 石井正己編 勉誠出版, 2016.](#)  
近代の帝国主義や植民地主義のもとで進められた博物館の活動は、当時の政治性を反映しています。同時に、収集された資料は、近代を物語る貴重なコレクションでもあります。博物館の歴史的位  
置づけ、博物館の存在意義を問い直す書。  
[ BB21119057 ]
- [大正・昭和前期博物館学基本文献集成 / 青木豊, 山本哲也編 雄山閣, 2016.](#)  
日本の博物館学が大きく転換した大正・昭和前期の論文のうち、散逸していた文献約80編を集成。  
博物館学の思想的流れが分かる資料集です。  
[ BB21174474 ]
- [明治期博物館学基本文献集成 / 青木豊編 雄山閣, 2012.](#)  
日本の博物館学は明治に始まっており、初期の研究状況をうかがえる文献が集められています。  
[ BB09109214 ]
- [西洋博物学者列伝：アリストテレスからダーウィンまで / ロバート・ハクスリー編著；植松靖夫訳, 2009.](#)  
自然界を探求するのが「博物学」で、博物館学とは全く異なります。けれど博物学は、近代諸科学の  
分化の根底にあり、博物館が対象とする資料の収集展示の出発点となってきました。代表的な博物  
学者の歩みから、博物館誕生以前の知の営みをたどります。  
[ BA88769244 ]
- [ひろがる日本のミュージアム：みんなで育て楽しむ文化の時代 / 千地万造, 木下達文著, 2007.](#)  
近年のミュージアム界の現状や課題をわかりやすくまとめてあります。例えば第4章では、市民や学  
校とミュージアムの連携をテーマに、ボランティアや市民参加との関わりについて考察。  
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BA81433642 ]

- [美術館学芸員という仕事 / 日比野秀男編著 ペリカン社, 1994.](#)  
 学芸員資格の取得方法から具体的な日常業務までを分かりやすく解説しています。学芸員の生の声も多数掲載。  
 ※海事科学分館で所蔵 [ BN10446282 ]
- [現代美術キュレーターという仕事 / 難波祐子著 青弓社, 2012.](#)  
 展覧会の企画運営に携わるキュレーターの仕事について、日本の学芸員と対比しつつ紹介。現代美術と美術館の動向も見えてきます。  
 [ BB08214701 ]
- [国立科学博物館のひみつ / 成毛眞, 折原守著 ブックマン社, 2015.](#)  
 日本の自然科学の代表的博物館。展示のほか、筑波研究施設の巨大バックヤードまで、余すことなく紹介。  
 ※総合・国際文化化学図書館で所蔵 [ BB19152967 ]
- [動物園のつくり方：入門動物園学 / Paul A. Rees著；武田庄平〔ほか〕訳 農林統計出版, 2016.](#)  
 動物園を科学的に解説。動物園の目的に始まり、倫理、飼育管理、展示デザインなど各項目ごとに紹介。  
 ※総合・国際文化化学図書館、自然科学系図書館で所蔵 [ BB21987144 ]
- [水族館の仕事 / 西源二郎, 猿渡敏郎編著 東海大学出版会, 2007.](#)  
 水族館を裏側から紹介。収集、飼育、展示、普及や研究などの、水族館の仕事と機能を解説しています。  
 ※総合・国際文化化学図書館で所蔵 [ BA83321209 ]
- [水族館のはなし / 堀由紀子著 岩波書店, 1998.](#)  
 江ノ島水族館を例に、水族館とは何かを平易に紹介。水族館の活動や歴史を紹介した図書はほかにも『日本の水族館』（内田ほか、東大出版2014）、『水族館日記』（鈴木、東海大出版2014）、『水族館の歴史』（ブルンナー、白水社2013）、『水族館学』（鈴木・西、東海大出版2010）などがあります。  
 ※総合・国際文化化学図書館 他で所蔵 [ BA37062767 ]
- [日本の水族館 / 内田詮三, 荒井一利, 西田清徳著 東京大学出版会, 2014.](#)  
 『水族館のはなし』コメント内図書  
 ※自然科学系図書館、海事科学分館で所蔵 [ BB1640710X ]
- [水族館日記：いつでも明日に夢があった / 鈴木克美著；オダギリミホ絵 東海大学出版部, 2014.](#)  
 『水族館のはなし』コメント内図書  
 ※自然科学系図書館で所蔵 [ BB17614278 ]

- [水族館の歴史：海が室内にやってきた / ベアント・ブルナー著；山川純子訳 白水社, 2013.](#)  
『水族館のはなし』コメント内図書  
※海事科学分館で所蔵 [ BB13307470 ]
- [水族館学：水族館の発展に期待をこめて / 鈴木克美, 西源二郎著【新版】東海大学出版会, 2010.](#)  
『水族館のはなし』コメント内図書  
※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BB04367212 ]
- [無形文化遺産とは何か：ユネスコの無形文化遺産を新たな視点で解説する / 七海ゆみ子著 彩流社, 2012.](#)  
無形文化遺産とは何でしょうか？ 登場の背景、条約のしくみなど、世界遺産と比べながら詳細に解説。  
※社会科学系図書館で所蔵 [ BB08234560 ]
- [「自然史博物館」を変えていく / 大阪市立自然史博物館・大阪自然史センター編 高稜社書店, 2009.](#)  
※人間科学系図書館で所蔵 [ BB00888009 ]
- [図書館・博物館・文書館の連携 / 日本図書館情報学会研究委員会編 勉誠出版, 2010.](#)  
※総合・国際文化学図書館、海事科学分館で所蔵 [ BB03498474 ]
- [博物館モノ\(資料\)語り：集める・残す・伝える / 岡山健仁著 創風社出版, 2007.](#)  
※総合・国際文化学図書館、社会科学系図書館で所蔵 [ BA8327195X ]
- [博物館の誕生：町田久成と東京帝室博物館 / 関秀夫著 岩波書店, 2005.](#)  
※総合・国際文化学図書館 他で所蔵 [ BA72285872 ]
- [フランスの博物館と図書館 / M.ブラン=モンマイユール \[ほか\] 著；松本栄寿, 小浜清子訳 玉川大学出版部, 2003.](#)  
※医学分館で所蔵 [ BA62128845 ]

**【参考:研究集会報告】**

[文化財の保存に関する国際研究集会:文化遺産調査資料集:遺跡整備・活用研究集会:保存科学研究集会:文化的景観研究集会:奈良国際シンポジウム:文化遺産保護報告集](#)



東京・奈良の国立文化財研究所によって例年、文化財関係の研究集会が開催されています。報告書は上記タイトルで検索のこと。なお文化財学講座研究室(文学部)では、文化財の専門書や雑誌を所蔵しています。利用希望者はお問い合わせください。

[ <http://www.lit.kobe-u.ac.jp/geography/bunkazai.html#books> ]

**博物館経営論**

[施策としての博物館の実践的評価:琵琶湖博物館の経済的・文化的・社会的効果の研究 / 村山皓編 雄山閣, 2001.](#)



博物館の運営では、評価(自己評価・外部評価)も重要になってきています。博物館で行われている施策が、地域社会にどれだけ効果を与えているか、その評価手法等を検討しています。

[ BA5530895X ]



[博物館の理念と運営:利用者主体の博物館学 / 布谷知夫著 雄山閣, 2005.](#)



利用者の視点を持った博物館にしていくには、具体的にどうすれば良いか。滋賀県立琵琶湖博物館の設立と運営の経験から、実際の取り組みを紹介し考察しています。

[ BA7334775X ]



[地域文化経済論:ミュージアム化される地域 / 寺岡寛著 同文館出版, 2014.](#)



地域経済の活性化のために、公立美術館の果たすべき役割は何か。地域文化経済を創造するのがあくまで主題の経済論のなかに、美術館が登場します。

※社会科学系図書館で所蔵

[ BB16631704 ]



[「科博」次のステップに向けて / 国立科学博物館研究会編著 ジアース教育新社, 2015.](#)



独立行政法人制度の中、国立科学博物館がどういった運営や展示等の活動を展開できるか、現状と課題をまとめています。国立科学博物館の事例ですが、広く博物館経営の参考になります。

※総合・国際文化学図書館で所蔵

[ BB18268762 ]



[アートは地域を変えたか:越後妻有大地の芸術祭の十三年:2000-2012 / 澤村明編著 慶應義塾大学出版会, 2014.](#)



新潟県で開催されてきた越後妻有アトリエンナーレが地域に与えた影響、経済効果の有無、社会的な効果について捉えて分析。地域社会の定性的な変化についても論じています。

※人間科学図書館で所蔵

[ BB15840695 ]



[みんなの博物館:マネジメント・ミュージアムの時代 / 諸岡博熊著 日本地域社会研究所, 2003.](#)



利用者中心の博物館の現状と問題を見つめ、経営戦略、サービス手法、運営組織など、市民参画・民営化時代の開かれた博物館のあり方を説きます。

※社会科学系図書館で所蔵

[ BA62873251 ]

- [ミュージアムが都市を再生する：経営と評価の実践 / 上山信一, 稲葉郁子著, 2003.](#)  
美術館や博物館など文化施設の価値を、経済的側面から評価。地域における文化施設の経営戦略を検討。



[ BA65050245 ]

- [地域博物館のソーシャル・マーケティング戦略：童謡作曲家山中直治を復活させた野田市郷土博物館 / 金山喜昭著【第2刷】ミュゼ, 2002.](#)

文字通り、地域博物館の経営戦略を、野田市の事例紹介を通じて検討しています。



[ BA57428340 ]

- [新博物館学：これからの博物館経営 / 小林克著 同成社, 2009.](#)



[ BA91624476 ]

## 博物館資料論

- [博物館資料論と調査 / 段木一行著 雄山閣出版, 1998.](#)

段木氏の本書も、学芸員として文化財の調査等に長く従事した経験から、博物館資料とその調査方法について述べています。



[ BA35165066 ]

- [博物館でまなぶ：利用と保存の資料論 / 八尋克郎, 布谷知夫, 里口保文編著 東海大学出版会, 2011.](#)

博物館が収蔵している資料は、保存し後世に伝えると同時に、利用・活用するという両側面を持つ。琵琶湖博物館を軸に語られる資料論。



[ BB07147019 ]


- [博物館資料の再生：自明性への問いとコレクションの文化資源化 / 明治大学博物館, 南山大学人類学博物館編 岩田書院, 2013.](#)


本書は博物館の存立基盤は何か、というやや形而上学的な、シンポジウムでの議論をまとめている。タイトルは一見すると難解だが、資料の本物とニセモノ、資料の評価や資源化といった今日的な課題を明快に論じていて、参考となります。





[ BB12137502 ]




- [ビュフォンの博物誌：全自然図譜と進化論の萌芽：『一般と個別の博物誌』ソニーニ版より / ジョルジュ・ルクレール・ビュフォン原著；C・S・ソニーニ原編集；ベカエール直美翻訳 工作舎, 1991.](#) 
- フランスの博物学者であるビュフォンが18世紀後半に出したこの名著は、地球の自然物を網羅し、動植物を豊富なカラー図版で紹介しました。ダーウィン以前の種の考えや科学思想を知るのには勿論、ページを繰って色彩を眺めるだけで楽しい一冊。京大所蔵の別版の解説もどうぞ。
- [ BN0694340X ]


- [上記京大所蔵の別版の解説](#) 
- <https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/bitstream/2433/37616/1/s380101.pdf>


- [植物学と植物画 / 大場秀章著 八坂書房, 2003.](#) 
- ボタニカルアートとして知られる植物画は、博物館／植物学にまたがります。植物学者の著者のまなざしは、博物館の標本を補完する資料として、植物画が重要であることを気付かせてくれます。
- [ BA64733049 ]


- [世界の蒐集：アジアをめぐる博物館・博覧会・海外旅行 / 伊藤真実子, 村松弘一編 山川出版社, 2014.](#) 
- ※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BB15217674 ]

## 博物館教育論・活用

- [イギリスの博物館で：博物館教育の現場から / 小島道裕著 歴史民俗博物館振興会, 2000.](#) 
- 博物館教育の展開とその可能性を、イギリスの博物館の事例から考察しています。日本以外の実状を知れる良書。
- [ BA49310436 ]

- [下町の学芸員奮闘記：文化財行政と生涯学習の最前線 / 小泉雅弘著 文芸社, 2005.](#) 
- 東京都江東区で文化財の担当者として働いた経験から、文化財をめぐる動向や、生涯学習との関わりから、資料を地域に還元し活用する方策などを具体的に述べています。
- [ BA73078079 ]

- [つながる図書館・博物館・文書館：デジタル化時代の知の基盤づくりへ / 石川徹也, 根本彰, 吉見俊哉編 東京大学出版会, 2011.](#) 
- 資料を扱うという面で考えると、博物館(M)と図書館(L)、文書館(A)は実は非常に似通った機能と役割を持っています。デジタル化時代の、3種の施設連携についての提言。
- [ BB05766836 ]

- [MLA連携の現状・課題・将来 / 水谷長志編著 勉誠出版, 2010.](#) 
- MLA連携の現状はどうなっているのか。具体例から掘り起こし、それぞれが取り扱う資料の特性や組織の枠を超えた連携の方向性について考察しています。
- [ BB02212940 ]

- [日本の文化施設を歩く：官民協働のまちづくり / 松本茂章著 水曜社, 2015.](#)  
 全国のアート施設、博物館、歴史的建造物などを訪ね歩き、文化がどうまちづくりに活かされているかを紹介しています。事例が豊富。  
  
 [ BB18373348 ]
- [だれもが学べる博物館へ：公教育の博物館学 / 駒見和夫著 学文社, 2008.](#)  
 公教育機関としての博物館という立場から、すべての人の利用に向け、障害者に視点を据え、運営や展示など、ユニバーサルサービスの方向性を提示します。  
  
 [ BA85082823 ]
- [世界の現場から今、博物館教育を問う：家族・学校・地域に向けての取り組み：国際シンポジウム / 東京国立博物館教育講座室・国際交流室編 国立博物館, 2006.](#)  
 日本に留まらず広く海外の博物館から、教育普及の担当者らが集まり、博物館における教育のあり方を、家族や学校、地域との連携という観点から討論した、国際シンポジウムの記録です。  
  
 [ BA76942807 ]
- [美術館のワークショップ：世田谷美術館25年間の軌跡 / 高橋直裕編：高橋直裕 \[ほか\] 著 武蔵野美術大学出版局, 2011.](#)  
 世田谷美術館で開館以来、取り組まれてきたワークショップの内容を振り返り、美術館のあり方についての展望を示しています。  
  
 [ BB07764219 ]
- [九州大学ミュージアムバスプロジェクト：九州大学総合研究博物館×西日本鉄道株式会社西鉄バスミュージアムバスデザイン広告プロジェクト / 九州大学大学院芸術工学研究院編集 九州大学出版会, 2013.](#)  
 九州大学が行った、博物館資料を外に出し、市民の目に触れさせようとしたプロジェクト。バス広告を利用し、さまざまな資料を印象的な写真と言葉で紹介した記録です。  
  
 [ BB12776126 ]
- [欧米における図書館、文書館、博物館の連携：Cultural Heritage Sectorとしての図書館 国立国会図書館, 2007.](#)  
 欧米で進められている“Cultural Heritage Sector”の動きを紹介する。MLAの各機関が所蔵する文化遺産を電子化し、ネットを介して一つの情報空間とするための連携の取り組み。  
  
 [ <http://current.ndl.go.jp/ca1644> ]
- [ミュージアムと生涯学習 / 神野善治 \[ほか\] 著, 2008.](#)  
 ミュージアムを学びの場ととらえ、実践的に博物館で行うべき生涯学習について考察し、学芸員の役割を説いています。  
  
 ※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BA85590438 ]



- [だれもが楽しめるユニバーサル・ミュージアム：「つくる」と「ひらく」の現場から / 広瀬浩二郎編著, 2007.](#)   
 誰もが楽しめるミュージアムのユニバーサル化を目指す、多様な取り組みを紹介。博物館側のバリアフリーの取組み、実際に語りかけ、ふれあって進められている、来館者にひらかれた展示の活動などを収録。  
 ※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BA81798470 ]
- [さわって楽しむ博物館：ユニバーサル・ミュージアムの可能性 / 広瀬浩二郎編著 青弓社, 2012.](#)   
 ユニバーサル・ミュージアムを実現するには何が必要か。子どもたちや視聴覚障害者など、マイノリティの知識や経験をどのように展示に生かせるか。多様な実践例からの考察。  
 ※総合・国際文化学図書館、人間科学図書館で所蔵 [ BB09229679 ]
- [ひろがる日本のミュージアム：みんなで育て楽しむ文化の時代 / 千地万造, 木下達文著, 2007.](#)   
 多様化する日本の博物館を概観。特にマルチメディア、市民や学校との連携などに重点を置いて、みんなで文化を育て楽しむ、現代の状況を見つめます。  
 ※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BA81433642 ]
- [チルドレンズ・ミュージアムをつくらう：knowledge begins in wonder / 目黒実著 ブロンズ新社, 1996.](#)   
 日本初の本格的チルドレンズミュージアム「遊びと学びのミュージアム」をつくった著者が、その舞台裏と今後の子どものための文化施設構想について述べています。  
 ※人間科学図書館で所蔵 [ BN14366902 ]
- [世界のアーキビスト：各国アーカイブズ団体の活動 / 全国歴史資料保存利用機関連絡協議会総務委員会編 岩田書院, 2008.](#)   
 国際文書館評議会の交流レセプションで発表された、世界11カ国によるアーカイブズの現状、課題、及び取組みの報告集。  
 [ BA86547740 ]
- [歴史資料の保存と公開 / 文書館問題研究会, 横浜開港資料館編 岩田書院, 2003.](#)   
 文書館、アーカイブズの保存・公開状況を、神奈川県内の事例から考察。関連する市史編さんや、博物館での事例報告もあり。日本のアーカイブズの現状と課題を考えるのに役立つ。  
 [ BA63629325 ]
- [「文化力と地域の活性化を拓く博学連携」\(博物館と大学との連携\)記録集：大学改革シンポジウム・三重大学開学60周年記念事業 三重大学博学連携推進室「文化力形成と地域活性化」連続フォーラム担当事務局, 2010.](#)   
 新県立博物館建設をきっかけに始まった連続シンポジウムの初回。文化力による地域活性化を目指し、地方大学の役割、博学連携を探っています。  
 ※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BB02310542 ]

- [博物館体験：学芸員のための視点 / ジョン・H・フォーク, リン・D・ディーキング著；高橋順一訳 雄山閣出版, 1996.](#) 
- 博物館の活用にはさまざまな課題があります。来館者による博物館体験、利用効果というソフト面に着目して、実証的に考察。
- ※人間科学図書館で所蔵 [ BN15042746 ]
- [自然史博物館：「地域の自然」の情報拠点：科学系博物館活用ネットワーク推進事業報告集 / 環瀬戸内地域\(中国・四国地方\)自然史系博物館ネットワーク推進協議会編著 高陵社書店, 2004.](#) 
- 自然史博物館はどうあるべきか。環瀬戸内地域自然史系博物館ネットワーク推進協議会による、自然史博物館による活用、体験学習事業などを紹介。
- ※総合・国際文化学図書館、人間科学図書館で所蔵 [ BA68365366 ]
- [ワークショップのはなしをしよう：芸術文化がつくる地域社会 / 今井良朗著 武蔵野美術大学出版社, 2016.](#) 
- アートと地域社会の関わり方を、具体例から考える書。地域固有の記憶と文化を核としたワークショップの試みを多数紹介。
- ※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BB20662825 ]
- [ミュージアム・エデュケーション：感性と知性を拓く想起空間 / ミハエル・パーモンティエ著；眞壁宏幹訳 慶應義塾大学出版会, 2012.](#) 
- ※総合・国際文化学図書館、人間科学図書館で所蔵 [ BB10266785 ]
- [世界をさわる：新たな身体知の探究 / 広瀬浩二郎編著 文理閣, 2014.](#) 
- ※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BB1707203X ]
- [博物館で学ぶ / ジョージ・E・ハイン著 同成社, 2010.](#) 
- ※総合・国際文化学図書館、人間科学図書館で所蔵 [ BB03339798 ]
- [ミュージアムの学びをデザインする：展示グラフィック&学習ツール制作読本 / 木下周一著 ぎょうせい, 2009.](#) 
- ※人間科学図書館で所蔵 [ BA89630975 ]



[学校と博物館でつくる国際理解教育：新しい学びをデザインする / 中牧弘允, 森茂岳雄, 多田昭孝志編著 明石書店, 2009.](#)



※人間科学図書館で所蔵 [ BA90891003 ]

## 博物館展示論



[博物館展示と地域社会：民俗文化史からのまなざし / 西海賢二著 岩田書院, 2014.](#)

歴史系(民俗系)博物館の展示批評を中心に、地域と博物館の役割を示す。地域で一人ひとりの自分史を掘り起こし、地域の歴史や文化へと広げて、博物館展示へと展開させる循環型の活動を考える。



[ BB15884238 ]



[歴史展示のメッセージ：歴博国際シンポジウム「歴史展示を考える-民族・戦争・教育-」 / 人間文化研究機構国立歴史民俗博物館編；小島道裕「ほか」著 アム・プロモーション, 2004.](#)

歴史展示で資料を教育にどう活用していくか。民族と戦争という現代社会が抱える課題を軸に展開した、国際シンポジウムの記録。



[ BA70463448 ]



[学芸員のための展示照明ハンドブック：博物館と美術館の照明に役立つポイント / 藤原工著 講談社, 2014.](#)

博物館の展示照明を実践する際の基本的事項や注意点、鑑賞者と展示物との関係性、照明リニューアルまで、展示照明について幅広い内容を、見開き1項目のスタイルでまとめています。



※総合・国際文化学図書館、自然科学系図書館で所蔵 [ BB15945911 ]



[ミュージアムと記憶：知識の集積/展示の構造学 / スーザン・A・クレイン編著, 2009.](#)

記憶と歴史が集積する場としてのミュージアムについて考える。ミュージアムの見学者、学芸員、研究者、あるいは自然史博物館からアート・ミュージアムまで幅広い時や場所を自在に横断しながら論じています。



※総合・国際文化学図書館、人間科学図書館で所蔵 [ BA88594129 ]



[北米の小さな博物館：「知」の世界遺産 / 北米エスニシティ研究会編, 2006.](#)

本書は好評でシリーズ3まで刊行されています。北アメリカの研究者たちが、北米の生の姿を知りえる博物館を厳選し、ジェンダー、人種、世帯などの視点から探ります。



※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BA77131865 ]





[地域博物館への提言：討論・地域文化と博物館 / 日本展示学会展示学講座実行委員会編 ギョウセイ, 2001.](#)


地域振興で博物館の活用があげられる例も少なくありませんが、実際にどうしたらいいのか？ 地域博物館での企画立案、計画推進、建築、展示それぞれの検証、提言を行っています。




※人間科学図書館で所蔵 [ BA5215515X ]


- [ミュージアムと負の記憶：戦争・公害・疾病・災害：人類の負の記憶をどう展示するか / 竹沢尚一郎編著 東信堂, 2015.](#) 
- 博物館で戦争や公害等々の負の記憶について展示が行われ、専門の博物館が設けられる例も少ない。国や各地の行政が設置するのが重要であると同時に、博物館自体が、積極的に負の記憶の意味を問い直し、来館者と共に展示のあり方等を示すことは可能なのか。各地の実践例から検討している。
- [ BB19800717 ]


- [生活再現の応用展示学的研究：博物館のエスノグラフィーとして / 嘉田由紀子, 古川彰編 滋賀県立琵琶湖博物館, 2000.](#) 
- 博物館の展示は何を伝える場なのだろうか？ 資料がフィールドから採集され展示されるまでの過程をも、展示しようと模索を続ける琵琶湖博物館の展示学的研究。
- [ BA50913213 ]


- [Rear：芸術批評誌リア36号：2015戦争を視る：特集 リア制作室, 2016.](#) 
- [ AA11915006 ]


## 博物館情報・メディア論


- [デジタルアーカイブ：記憶と記録を紡ぐ / 高島秀之著 創成社, 2013.](#) 
- アートや知の保存・普及に、デジタル化は本当に適しているのか。映像・音声記録を中心に、デジタル化と後世への残し方を提言。
- ※人間科学図書館で所蔵 [ BB12767169 ]

- [デジタルアーカイブ：基点・手法・課題 / 笠羽晴夫著 水曜社, 2010.](#) 
- 近年の知見を踏まえて、デジタルによる文化資源の蓄積・公開・更新・著作権の処理法などを解説します。
- ※総合・国際文化学図書館、自然科学系図書館で所蔵 [ BB03431553 ]


- [デジタル時代のアーカイブ / 小川千代子編 岩田書院, 2008.](#) 
- アーカイブズを中心に、デジタル化や法規、普及などの課題を考えます。
- [ BA8734289X ]


- [Rear：芸術批評誌リア39号：アーカイブは可能か?：特集 リア制作室, 2017.](#) 
- 文化芸術に関するアーカイブについて、利用者や作成者など、様々な立場からアーカイブの現状や課題を提示し、アーカイブがいかにより可能かを入門的に考察します。
- [ AA11915006 ]


- [古きをのこし・つたえる新しき技：記録保存からデジタルアーカイブへ / 元興寺文化財研究所編集 元興寺文化財研究所, 2008.](#) 
- 文化遺産の記録作成はどのように行われるのか。特に埋蔵文化財の情報のデジタルアーカイブについて、実状と活用を解説しています。
- [ BA89688261 ]


- [変貌するミュージアムコミュニケーション：来館者と展示空間をめぐるメディア論的想像力 / 光岡寿郎著 せりか書房, 2017.](#) 
- ※人間科学図書館で所蔵 [ BB2385196X ]


## 博物館資料保存論

- ["オリジナル"の行方：文化財を伝えるために / 東京文化財研究所編 平凡社, 2010.](#) 
- 資料保存で修復をする際に直面する、オリジナルとは何か、という問題について説き起こしています。
- [ BB01419830 ]

- [文化財の現在過去・未来 / 彬子女王編 = The past, present, and future of cultural asset / Princess Akiko of Mikasa 宮帯出版社, 2013.](#) 
- デジタル技術が進み、生活様式も大きく変化した現代において、伝統文化を支える意味を問う。伝統的手法やデジタル技術を駆使した新たな取り組みなどを幅広く取り上げています。
- [ BB13265847 ]

- [東京国立博物館の臨床保存 = Clinical conservation at the Tokyo National Museum / 東京国立博物館編集【改訂版】美術出版社, 2013.](#) 
- 『博物館資料の臨床保存学』のいわば実践編。東博での日常の資料管理の在り方を紹介。
- [ BB12583789 ]

- [博物館資料の臨床保存学 / 神庭信幸著 武蔵野美術大学出版局, 2014.](#) 
- 上記コメント内図書
- [ BB15181001 ]

- [博物館資料保存論：文化財と空気汚染 / 佐野千絵〔ほか〕著 みみずく舎, 2010.](#) 
- 2008年の東京文化財研究所における学芸員研修がベース。博物館で文化財を保存・展示するための空気環境を獲得するノウハウを紹介しています。汚染対策など豊富な事例も報告。
- [ BB0242894X ]

- [文化財科学の事典 / 馬淵久夫 \[ほか\] 編集 朝倉書店, 2003.](#)   
資料を保存する際に必須となる、文化財科学の用語を網羅的に取り上げ、簡潔に説明している事典です。  
[ BA62639753 ]
- [文化財学の新天地 / 国立文化財機構奈良文化財研究所編【国立文化財機構奈良文化財研究所】国立文化財機構奈良文化財研究所, 2013.](#)   
奈良文化財研究所が開設以来取り組んできた、遺跡調査や保存科学の成果を網羅した論文集。資料保存関係の論考も充実しており、より専門的な学習時に参照して下さい。  
[ BB12298647 ]
- [元興寺文化財研究所創立40周年記念論文集 / 元興寺文化財研究所, 元興寺文化財研究所民俗文化財保存会編集 クバプロ, 2007.](#)   
文化財保存は大きく、地域資料保存、理化学的保存科学に分かれます。本書は保存科学の中心的役割を果たしてきた研究所による論文集で、保存科学の各専門分野の最新動向を知ることが出来ます。  
[ BA82228117 ]
- [博物館と文化財修理：特集陳列：九州国立博物館文化財保存修復施設開設3周年記念 / 九州国立博物館編集 九州国立博物館, 2008.](#)   
国立博物館には文化財の保存修理所があり、九州にも開館にあわせて出来ました。保存修理の九博での実践活動の成果を紹介する内容です。  
[ BA88649978 ]
- [まねる・まねぶ・まなぶ：複製にみる教育と保存 \[京都工芸繊維大学美術工芸資料館\], 2015.](#)   
複製、模写は美術教育において重要な意味を持ちます。また複製を作るというのは保存においても無視できない手法です。複製とは何かを追究した展示の記録であり、学生たちによる展示作成記録でもあります。  
[ BB17843479 ]
- [考古資料の修復・複製・保存処理 / 宮内庁書陵部陵墓課編 学生社, 2009.](#)   
土器や鉄製品、石造物といった考古・歴史資料の保存について、実際の処理過程を丹念に記録、紹介しています。宮内庁書陵部が例年行っている展示会の資料集。  
[ BA91718252 ]
- [博物館資料の修復と製作 / 内川隆志著 雄山閣, 2004.](#)   
博物館資料の修復や製作は、展示公開という教育普及機能を充足させる上で、重要な方法です。資料の修復や製作を通して、保存だけでなく活用までを見通す姿勢が必要なのが分かります。  
[ BA69916975 ]





- [文化財学の課題：和紙文化の継承 / 湯山賢一編 勉誠出版, 2006.](#)  [ BA76498310 ]
- 世界文化遺産・醍醐寺の史料を事例としながら、和紙に関して、性質、作り方、修理、史料情報まで多岐に渡って学びます。
- [文化財・保存科学の原理：文化財の劣化・損傷要因とその保存対策 / 丹青総合研究所, 丹青社企画・編集 丹青社, 1990.](#)  [ BN05479362 ]
- 文化財を、その物自体に極力手を加えず、気候や照明、虫などからの劣化をどう防ぐか。資料の劣化や損傷要因を個別に解説しながら、対策についても示しています。
- [紙と本の保存科学 / 園田直子編【第2版】岩田書院, 2010.](#)  [ BB04283837 ]
- 図書館・保存科学・修復・紙パルプ科学・分析化学などの異分野の研究者たちによる共同研究成果。紙や本という「もの」の保存に焦点をあて、専門の立場から執筆した基礎文献。
- [博物館の環境管理 / ギャリー・トムソン著；東京芸術大学美術学部保存科学教室訳 雄山閣出版, 1988.](#)  [ BN02585239 ]
- 博物館における展示品などの環境、特に光・湿度・汚染大気について、実際面からわかりやすく解説。
- ※海事科学分館で所蔵
- [よみがえる国宝：特別展：守り伝える日本の美 / 九州国立博物館編 九州国立博物館, 2011.](#)  [ BB06235336 ]
- 九州国立博物館が実際に行ってきた保存修復作業とその成果を展示の形でまとめたもの。伝統的技術を用いた修復がよく分かります。
- [博物館・美術館の生物学：カビ・害虫対策のためのIPMの実践 / 川上裕司, 杉山真紀子 著, 2009.](#)  [ BA91182254 ]
- カビや昆虫から資料をどう守ったらいいのか。IPMの解説もしながら、具体的な対策を紹介しています。
- ※総合・国際文化学図書館で所蔵
- [文化財害虫事典：博物館・美術館におけるIPM\(総合的害虫管理\)推進のために / 文化財研究所東京文化財研究所編 クバプロ, 2001.](#)  [ BA55375356 ]
- 文化財の保存管理における大敵の一つが虫やカビです。IPM対策で欠かせない害虫の基礎知識をまとめた事典です。改訂版もあり(自然科学図書館)


- [文化財害虫事典：博物館・美術館におけるIPM\(総合的害虫管理\)推進のために / 文化財研究所東京文化財研究所編【2004年改訂版】クバプロ, 2004.](#) 
- 上記コメント内の改訂版図書
- ※自然科学系図書館で所蔵 [ BA67113007 ]
- [文化財の虫菌害と保存対策 / 文化財虫害研究所\[編\] 文化財虫害研究所, 1987.](#) 
- 文化財における虫菌害についてまとめ、保存対策を解説する専門書。
- ※自然科学系図書館で所蔵 [ BN00983999 ]
- [保存環境を整える：厳しい気候,各種災害から資料をいかに守るか：第7回資料保存シンポジウム講演集 / 国立国会図書館編 日本図書館協会, 1997.](#) 
- 中国、韓国、ベトナム、モンゴルの資料保存の現状から、さまざまな環境下での保存、災害からの保護について考える。「資料保存シンポジウム」の内容は下記リンクも参照。
- ※社会科学系図書館、海事科学分館で所蔵 [ BA34094530 ]
- [上記「資料保存シンポジウム」の内容](#)  
<http://www.e-ihk.com/html/010.html> 
- [博物館・文書館・大学の資料修復 / 敦賀短期大学地域交流センター編 敦賀短期大学地域交流センター, 2005.](#) 
- 敦賀短期大学で行われた講座の記録。過去の歴史遺産を未来につなげる文化財の修復について、博物館、文書館、大学それぞれの立場から考えます。
- [ BA74392272 ]
- [杉原紙：播磨の紙の歴史 / 藤田貞雄著 杉原紙研究会, 1970.](#) 
- 杉原紙は、兵庫県の播磨で古代から伝統的に作られてきた和紙です。一度衰退した技術を復活させ、現在伝承に努めています。無形の文化である「技術」を保存継承するとは何かを問いかけます。
- [ BA34693488 ]
- [合成素材と博物館資料 / 園田直子編 国立民族学博物館, 2003.](#) 
- 資料の保存修復、レプリカ作成において、今日、合成樹脂をはじめとした合成素材が無視できません。各分野での利用状況や課題を検討した研究報告。
- [ BA61129139 ]
- [文化財の収蔵・展示環境 / 国立文化財機構奈良文化財研究所編 国立文化財機構奈良文化財研究所埋蔵文化財センター保存修復科学研究室, 2014.](#) 
- 文化財の収蔵・展示環境に関する研究報告集。温湿度、観測システム、屋外の資料保存など。
- [ BB14995346 ]


- [さわって学ぶ仏像の基礎知識 / 和歌山県立博物館編 和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会, 2017.](#) 
- 和歌山県立博物館が近年取り組んでいる、3Dプリンタを活用した文化財レプリカ作り、さわって読む図録づくりの成果。
- ※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BB2342810X ]
- [はぎとり・きりとり・かたどり：大地にきざまれた記憶 国立文化財機構奈良文化財研究所飛鳥資料館, 2014.](#) 
- 屋外の文化遺産である考古学的な遺跡や遺構を保存する、剥ぎ取りやレプリカ法を紹介する。
- [ BB16793193 ]
- [文化財の保存・修復の半世紀：元興寺文化財研究所創立45周年 / 元興寺文化財研究所編集 元興寺文化財研究所, 2012.](#) 
- 元興寺は1960年代から木製品をはじめとした出土品や伝世資料の保存修復を手掛けてきた。本書にまとめられた研究所の歴史は、文化財保存科学の歴史にも通じます。
- [ BB11777859 ]
- [時を超えた伝統の技：文化を未来に手渡すコロタイプによる文化財の複製：便利堂創業一三〇周年記念出版 / 西村寿美雄, 小池佳代子企画・編集 便利堂, 2016.](#) 
- 写真印刷の手法として高く評価されてきたコロタイプ印刷は、文化遺産の記録や複製でも活躍してきました。その技法を事例を通じて詳しく紹介。
- [ BB22527310 ]
- [考古学のための化学10章 / 馬淵久夫, 富永健編 東京大学出版会, 1981.](#) 
- 考古資料を保存、分析するための多様な自然科学的手法を解説する。
- [ BN00142907 ]
- [日本のものづくり遺産：未来技術遺産のすべて / 国立科学博物館産業技術史資料情報センター監修 山川出版社, 2015.](#) 
- 日本の産業技術遺産を網羅的に紹介し、日本で生まれた技術革新の歴史を通覧します。「未来技術遺産」(重要科学技術史資料)を登録分野ごとに解説。
- ※社会科学系図書館 他で所蔵 [ BB18416702 ]
- [文化資源の保存、活用及び創造を支える科学技術の振興 科学技術・学術審議会, 2004.](#) 
- 文化財を含む資料保存に関して、具体例に則ってその保存活用の技術等をまとめています。
- [ [http://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/gijyutu/gijyutu3/toushin/04021901.htm](http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/gijyutu/gijyutu3/toushin/04021901.htm) ]

- [技術の歴史を未来に役立てるためには：産業技術の歴史国際シンポジウム報告 国立科学博物館「産業技術史資料の評価・保存・公開等に関する調査研究」企画推進委員会 編、2001.](#) 
- 博物館資料の中でも、近代以降の産業技術に関する資料の活用は、まだ研究途上にあります。産業技術の活用について議論した国際シンポジウムの記録。
- [ <http://sts.kahaku.go.jp/diversity/document/pdf/322151.pdf> ]
- [日本産業技術史事典 / 日本産業技術史学会編 思文閣出版、2007.](#) 
- 理工系の科学技術は世界的に、近代以降に登場した新たな人類の遺産です。多種多様な製品や技術を後世に残すために、産業史の変遷を知るのが求められます。理系のあなた、出番ですよ。
- [ BA82583447 ]
- [近代日本と物理実験機器：京都大学所蔵明治・大正期物理実験機器 / 永平幸雄, 川合葉子編著 京都大学学術出版会、2001.](#) 
- 近代に考案されたさまざまな実験機器は、実用品であると同時に、大学等で科学教育の道具として必須でした。科学と教育の歴史を、博物館的な機器群を通して紹介しています。
- [ BA52783651 ]
- [IT時代の産業技術博物館構想：技術の保存継承が拓く21世紀のモノづくり / 馬淵浩一著 玉川大学出版部、2001.](#) 
- 産業技術の博物館が無い日本の現状を踏まえ、あらゆる形態の技術情報を収集し、産業技術情報センターとしても機能する博物館像を示します。
- ※社会科学系図書館、海事科学分館で所蔵 [ BA50607669 ]
- [美を伝えゆく：名品にみる20年の歩み：開館20周年記念 / 宮内庁三の丸尚蔵館編集；黒川廣子翻訳 菊葉文化協会、2013.](#) 
- [ BB13854611 ]
- [色の博物誌：江戸の色材を視る・読む / 降旗千賀子, 加藤絵美, 佐川夕子編 目黒区美術館、2016.](#) 
- [ BB22668163 ]
- [江戸の「紅」：紅花染めと浮世絵の絵具「片紅」をつくる / 降旗千賀子編 目黒区美術館、2017.](#) 
- [ BB24463128 ]


[SOSふるさとの文化財をすくえ：伝えたい古人\(いにしえびと\)の心と技：平成15年度夏季企画展 / 長野県立歴史館編 長野県立歴史館, \[2003\].](#)  [ BA63574314 ]

[出土鉄製品の保存と対応 / 松井敏也著 同成社, 2009.](#)  [ BA89897104 ]


[科学が解き明かす古代の歴史：新世紀の考古科学 / 沢田正昭編集 クバプロ, 2004.](#)  [ BA69368723 ]

[遺物の保存と調査 / 沢田正昭編集・監修 クバプロ, 2003.](#)  [ BA61975766 ]

## ブルーシールド、文化財と災害

[ブルーシールド：危険に瀕する文化遺産の保護のために：国際図書館連盟第68回年次大会\(2002年グラスゴー\)資料保存コア活動・国立図書館分科会共催公開発表会報告集 / コリン・コッホ編集・翻訳：国立国会図書館日本語訳 日本図書館協会, 2007.](#)    
ブルーシールドとは、戦争や災害から文化財を保護する「文化財のための赤十字」である。活動を周知するためのセミナー報告。紹介文あり。   
※社会科学系図書館で所蔵 [ BA82887907 ]

[上記コメント内の紹介文リンク先URL](#)    
<http://current.ndl.go.jp/e688>

[文化財の防災計画：有形文化財・博物館等資料の災害防止対策 / 半澤重信著 朝倉書店, 1997.](#)    
文化財の所有者や、博物館、行政担当者といった人々が、文化財をどうやって盗難や地震・火災などの被害から守るか。建築計画の領域から代表的な災害への対処方法を述べています。   
[ BA31725624 ]

- [東日本大震災美術館・博物館総合調査報告：全国美術館会議 / 全国美術館会議東日本大震災美術館・博物館総合調査分科会, 全国美術館会議事務局編集, 全国美術館会議, 2014.](#) 
- 東北地方太平洋沖地震では、被災地域の美術館・博物館等も大小の被害を受けました。全国組織である全国美術館会議が取りまとめた、博物館等被害の報告。
- [ BB15785746 ]
- [阪神大震災美術館・博物館総合調査報告 / 全国美術館会議, 阪神大震災美術館・博物館総合調査編集員編, 全国美術館会議, 1995-1996.](#) 
- 全国美術館会議による、1995年の阪神・淡路大震災における、美術館等の被害報告。
- [ BN13468623 ]
- [安定化処理：大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト / 津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会, 赤沼英男, 鈴木まほろ編集, 2015.](#) 
- 東北地方太平洋沖地震で被災した文化財は、津波で海水や泥を被るという大きな特徴がある。物理的損壊に加え、カビなどから文化財を救出する一連の手段は、安定化処理、という言葉に集約される。被災文化財救出の動きと課題を見つめる。初版も書架にあり。
- [ BB17858691 ]
- [よみがえる!六角堂：震災復興のシンボルとしての六角堂再建記録：総集編 / 天心・六角堂復興プロジェクト 茨城大学, \[2012\].](#) 
- 2011年の東日本大震災で、津波で流失した六角堂の再建記録。文化財が建築や美術など本来的価値に加え、新たに復興の精神的支柱として価値を獲得しているのが分かります。
- [ 2002184807 ]
- [所蔵資料図録：暮らしのなかの震災資料 / 阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター資料室編集, 阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター資料室, 2016.](#) 
- 阪神・淡路大震災の博物館学的な資料を収集保存する、人と防災未来センター。センターが保管する資料を写真付きで紹介する、初の本格的な図録です。災害とは何か、地域資料とは何かを考える際の貴重な目録です。
- [ BB21049916 ]
- [動産文化財救出マニュアル：思い出の品から美術工芸品まで / 動産文化財救出マニュアル編集委員会編, クバプロ, 2012.](#) 
- 1995年の震災以来、各地での災害の度に蓄積されてきた文化財レスキューの知識と経験をまとめています。美術品からアルバム、仏壇といった日常的な品々まで、種別に救出作業の基本を指南。2011年災害の事例も含む。
- [ BB09606070 ]
- [水損史料を救う：風水害からの歴史資料保全 / 松下正和, 河野未央編, 2009.](#) 
- 文化財、歴史資料が災害で被災する時、地震の次に多いのが洪水などの水害です。風水害にあった資料をどう救出するか、現場での開拓を踏まえた紹介。
- [ BA90099053 ]



- [よみがえる被災火焰型土器：新潟県中越地震で被災した津南町所蔵の縄文土器の修復記録, 2005.](#) 
- 2004年の新潟県中越地震で、縄文時代の火焰型土器が被災。展示で借用を予定していた博物館と地元が協力して行った修復の記録です。
- ※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BA74279950 ]
- [史料の被災と救済・保存：福井史料ネットワーク活動記録：敦賀短期大学地域交流センター公開シンポジウム / 敦賀短期大学地域交流センター編 敦賀短期大学地域交流センター, 2006.](#) 
- 2004年の福井豪雨をきっかけに結成された、福井史料ネットワークによる被災資料保存活動をまとめた記録。
- [ BA79648588 ]
- [六角堂再建の軌跡 / Ibaraki University 茨城大学, 2014.](#) 
- 2011年の東日本大震災で、津波で流失した北茨木市の六角堂の再建記録です。文化財としての価値、地域復興の柱としての価値がそこにあります。
- [ BB22025684 ]
- [阪神・淡路大震災と歴史的建造物 / 加藤邦男編 思文閣出版, 1998.](#) 
- 阪神・淡路大震災で大きな被害を受けた、歴史的建造物の数々。文化財指定の有無や地域生活、復興過程など、様々な要因で保存・解体の明暗が分かれた実態をまとめ、その後の指針となりました。
- [ BA35543276 ]
- [災害と村落 / 日本村落研究学会企画：植田今日子編 農山漁村文化協会, 2015.](#) 
- 村落という小規模の社会から被災のあり方を眺める本書は、文化資源を直接論じてはいませんが、文化資源を生み出し、守り伝えるコミュニティと災害への対処について考えさせられます。
- [ BB19891337 ]
- [災害から文化財を守る：阪神・淡路大震災文化財復旧・復興事業の記録 / 兵庫県教育委員会社会教育・文化財課編 阪神・淡路大震災文化財被災状況報告書刊行会, 1999.](#) 
- 阪神・淡路大震災で取り組まれた、文化財レスキューの報告書。
- ※自然科学系図書館で所蔵 [ BA53491979 ]
- [災害と歴史遺産：被災文化財等レスキュー活動の20年：兵庫県関係展示分図録：特別企画展 阪神・淡路大震災20年 / 兵庫県立歴史博物館編 兵庫県立歴史博物館, 2015.](#) 
- 阪神・淡路大震災をきっかけに始まった、災害で被災した文化遺産のレスキュー活動。20年の活動成果をまとめています。
- [ BB18149027 ]
- [災害に学ぶ：文化資源の保全と再生 / 木部暢子編 勉誠出版, 2015.](#) 
- 東日本大震災後の文化遺産保護の課題。災害により失われた人と人のつながりの再構築や、文化遺産を災害からどう守り、被災資料を保全するか。地域文化復興のあり方を広く探ります。
- [ BB1850944X ]

- [無形民俗文化財が被災するということ：東日本大震災と宮城県沿岸部地域社会の民俗誌 / 高倉浩樹, 滝澤克彦編 新泉社, 2014.](#) 
- 東日本大震災の被害は無形文化遺産にも及びました。「無形」の文化伝統をどう守り伝えるか。地域誌を踏まえ、社会的意義までを考察。
- [ BB14572863 ]
- [ふくしま再生と歴史・文化遺産 / 阿部浩一, 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター編 山川出版社, 2013.](#) 
- 東日本大震災後の地域社会を、歴史と文化が護る。原発事故・津波・地震から、多種多様な文化遺産をどのように守り、活用していくのかを見つめます。
- [ BB14082649 ]
- [被災地の博物館に聞く：東日本大震災と歴史・文化資料 / 国立歴史民俗博物館編 吉川弘文館, 2012.](#) 
- 東日本大震災によるレスキューの現状と課題を、作業に携わる関係者たちの報告から明らかにしています。
- ※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BB08675817 ]
- [世界遺産を平和の砦に：武力紛争から文化を守るハーグ条約 / 高橋暁著 すすさわ書店, 2010.](#) 
- 世界遺産条約はハーグ条約とともに、国家・民族・宗教等の対立を超え、人類が互いの文化を尊重しあうためのツールです。戦争・武力紛争後の文化復興のあり方を検討。
- ※総合・国際文化学図書館で所蔵 [ BB04310940 ]
- [大地からの伝言：宮城の災害考古学 / 『宮城の災害考古学』刊行特別委員会編 宮城県考古学会, 2016.](#) 
- 発掘調査でこれまで明らかにされてきた、宮城県の過去の災害痕跡を集成。地震や火山、洪水による被災と克服の歴史を紹介しています。
- [ BB22098531 ]
- [黄金のアフガニスタン：守りぬかれたシルクロードの秘宝 = Hidden treasures from the National Museum, Kabul / 九州国立博物館, 東京国立博物館, 産経新聞社編 産経新聞社, 2016.](#) 
- アフガニスタンの戦火をくぐり抜けた博物館と文化遺産の数々。関係者の思いは「自らの文化が生き続ける限り、その国は生きながらえる」との言葉に表されています。今なお紛争の絶えない現地からのメッセージです。
- [ BB20944383 ]
- [東日本大震災とミュージアム / 仙台・宮城ミュージアムアライアンス編 宮城ミュージアムアライアンス, 2015.](#) 
- 岩手、宮城、福島ミュージアムで、東日本大震災後の文化遺産救出や展示再開、活用の活動などを記録。
- [ BB18541792 ]

- [自然災害と復興支援 / 林勲男編著 明石書店, 2010.](#)  [ BB00798846 ]
- ※社会科学系図書館で所蔵
- [平成28年熊本地震による被災古墳の現状と課題：第20回九州前方後円墳研究会熊本大会：発表要旨集 / 第20回九州前方後円墳研究会実行委員会編集 第20回九州前方後円墳研究会実行委員会, 2017.](#)  [ BB2427352X ]
- [災害文化形成を担う地域歴史資料学の確立をめざして：国際シンポジウム：予稿集 / 科学研究費補助金基盤研究S「災害文化形成を担う地域歴史資料学の確立：東日本大地震を踏まえて」研究グループ\(研究代表者・奥村弘\)編 科学研究費補助金基盤研究S「災害文化形成を担う地域歴史資料学の確立：東日本大地震を踏まえて」研究グループ\(研究代表者・奥村弘\), 2017.](#)  [ BB25578307 ]
- [平成28年熊本地震 / 金剛社長室企画制作 金剛, 2016.](#)  [ BB25158651 ]
- [災害を越えて：未来をつくる記録の力 / 金剛社長室企画制作 金剛, 2017.](#)  [ BB2557787X ]
- [先人たちが残してくれた「災害の記憶」を未来に伝える：命と文化遺産とを守るために / 和歌山県立博物館編【V】和歌山県立博物館施設活性化事業実行委員会, 2015.](#)  [ BB2101368X ]
- [文化財防災体制についての国際比較研究：報告書 / 奥村弘, 内田俊秀, 天野真志編 神戸大学人文学研究科, 2016.](#)  [ BB21430494 ]

- [ISCACH \(Beirut 2015\) : International Syrian Congress on Archaeology and Cultural Heritage : program and abstracts Archaeological Institute of Kashihara, 2015.](#)   
[ BB21461931 ]
- [自然災害と考古学 : 災害・復興をぐんまの遺跡から探る / 群馬県埋蔵文化財調査事業団編 上毛新聞社事業局出版部, 2013.](#)   
[ BB12900702 ]
- [ふるさとを想うまもるつなぐ : 地域の大学と町役場の試み / 富岡町, 福島大学, 福島大学うつくしまふくしま未来支援センター編 福島大学, 2017.](#)   
[ BB23596294 ]
- [災害と文化財 : ある文化財科学者の視点から / 日高真吾著 ; 国立民族学博物館編 千里文化財団, 2015.](#)   
[ BB20444562 ]
- [ずっとずっとふるさと陸前高田 心に生きる「たからもの」 : 大津波被災文化財保存修復技術連携プロジェクト支援企画展 / 津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会, 赤沼英男, 熊谷賢企画・編集 津波により被災した文化財の保存修復技術の構築と専門機関の連携に関するプロジェクト実行委員会, 2016.](#)   
[ BB22832052 ]